

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第45週（11月7日～11月13日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

第45週の定点医療機関からの報告数が0.21となっています。

全国では第44週のインフルエンザの定点医療機関からの報告数が0.59となるなど、増加傾向にある中、高知県では報告のない状態が続いていましたが、第45週に今シーズンとしては初めて、まとまった数の報告がありました。

中央東、安芸、高知市から報告があり、迅速検査ではインフルエンザA型が100%となっています。

また、報告日(11月14日)から第46週に計上されますが、感染症情報収集システム※で、中央東保健所管内で今シーズンでは初めてとなる学級閉鎖1例が報告されています。

これからの時期は空気も乾燥し、インフルエンザウイルスが活動しやすい時期となります。

インフルエンザの感染力は大変強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

予防対策としては手洗い、咳エチケット、予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

### インフルエンザ予防接種は、お早めに！

インフルエンザワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、約2週間かかり、約5ヶ月程度持続すると言われていたことから、12月頃までに接種を完了することが望まれます。

予防接種には、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。

### インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。 等

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

### ○流行性耳下腺炎（おたふく風邪）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第44週の0.50から第45週では1.00と急増しています。中央東、幡多で増加し、中央東では注意報値を超えています。

また、定点医療機関からのホット情報でも中央東保健所管内から15例の報告があるなど、特に中央東保健所管内からの報告数が増加しています。

流行性耳下腺炎は、3～6歳の小児に多い感染症で、耳の下やあごの下の腫れと痛みが特徴です。

通常、1～2週間で軽快しますが、まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎等の合併症を起こすことがあります。また、感染しても症状が現れない不顕性感染が30%程度あるとされています。

感染力はとて強く、咳等のしぶきによる飛沫感染と唾液が付着した物への接触等による接触感染があります。

予防対策としては手洗い、うがいの励行に加えて、任意による予防接種があります。予防接種で予防効果を確実にするためには2回の接種が必要ですので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

## ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第44週の0.03から第45週では0.07と急増しています。幡多で増加し、注意報値を超えています。

また、定点医療機関からのホット情報では須崎から百日咳1例（44週検出）が報告され、病原体検出情報でも須崎から百日咳菌（*Bordetella pertussis*）が1例報告されています。

百日咳は、百日咳菌による感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します。通常7～10日間程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、次第に咳が多くなり程度も激しくなる事と、痰が出る事が特徴です。その後、激しい咳は2～3週間かけて徐々に治まりますが、時折、発作性の咳がみられます。

百日咳は、感染力が強く、咳の開始から約3週間は菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

## ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第44週の4.50から第45週では6.13と増加し、中央東、須崎、中央西、高知市で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス6例、カンピロバクター4例、サルモネラ1例が報告され、病原体検出情報でも須崎からNorovirus GII NTが2例報告されています。また、ノロウイルスによる集団感染が中央西、高知市保健所管内で各1件発生しています。

感染性胃腸炎は、吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛を主症状とする、細菌あるいはウイルスなどによる感染症です。例年、秋から冬にかけてノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルス感染による感染性胃腸炎の報告数が増加します。

特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあるため注意が必要です。

予防対策としては、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分しましょう。）調理をする場合は、よく加熱（85℃、1分間以上）しましょう。

### ●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

### ●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

## ○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第44週の0.50から第45週では1.25と急増しました。幡多、高知市で増加し、定点医療機関からのホット情報でも45例が報告されています。また、感染症情報システム※でも44例の報告があるなど引き続き報告数の多い状態が続いていることから、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を生じることがあります。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

## ☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱の報告が1例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。予防するためのワクチン等はありません。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。

長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに咬まれないようにしましょう。吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。






- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

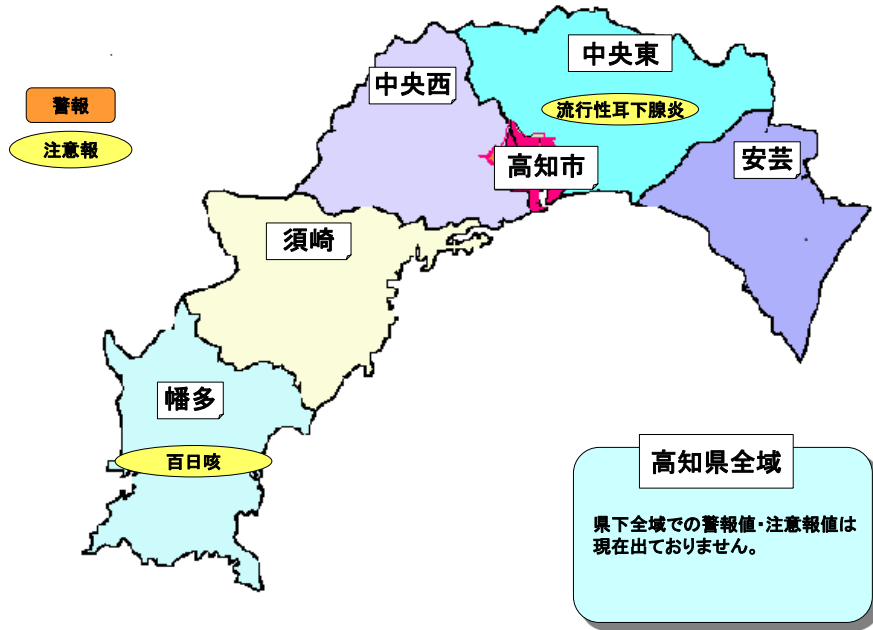
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

## ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減  
45週（11月7日～11月13日）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		6.13	中央東、須崎、中央西、高知市で増加しています。
RSウイルス感染症		1.03	中央東、中央西、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		1.00	幡多、須崎、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎		1.00	中央東、幡多で増加し、中央東では注意報値を超えています。
水痘		0.40	高知市、中央東で増加しています。

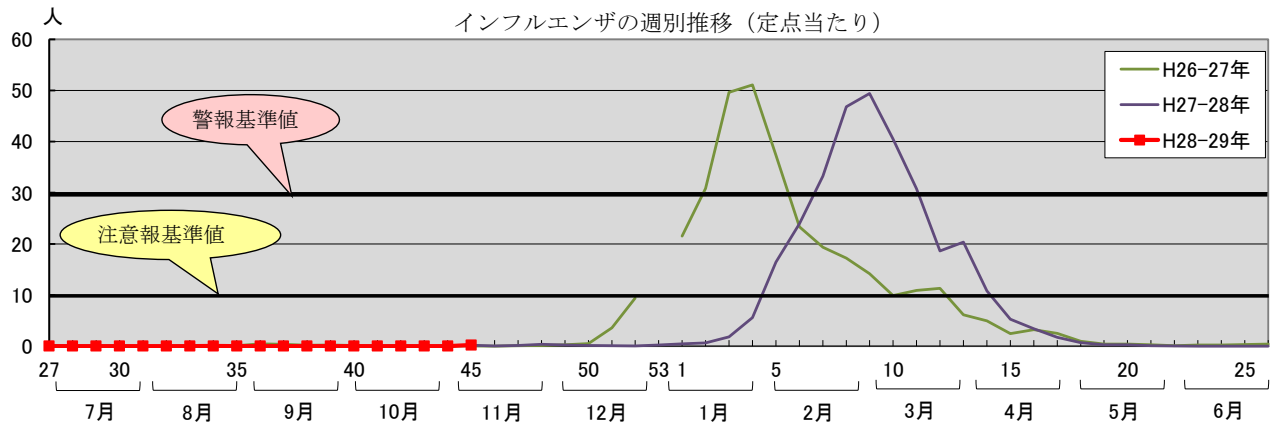
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

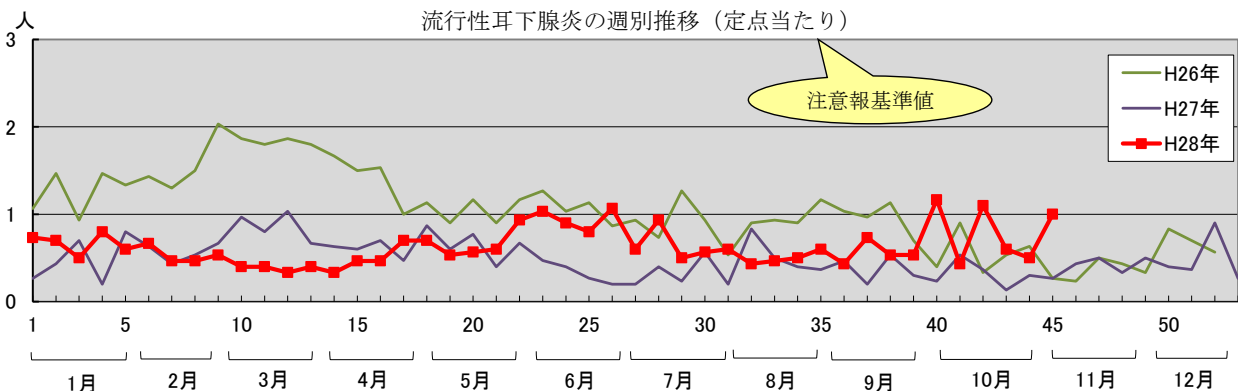
○インフルエンザ 第45週：0.21（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.21（前週0.00）となっています。地域別にみると、中央東0.45（前週0.00）、安芸0.25（前週0.00）、高知市0.25（前週0.00）で増加しています。



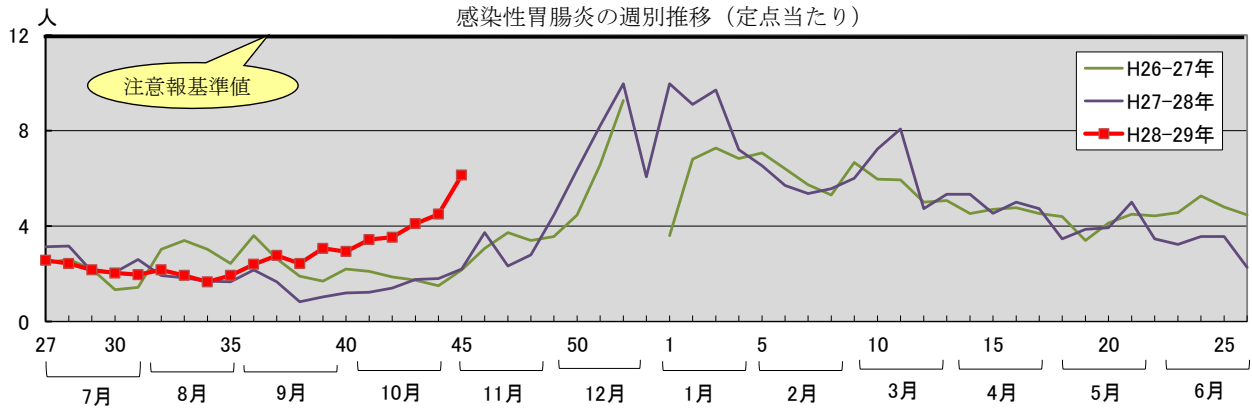
○流行性耳下腺炎 第45週：1.00（注意報値：3.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.00（前週：0.50）と急増しています。中央東3.00（前週：1.00）、幡多0.60（前週：0.00）で増加し、中央東では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第45週：6.13 （注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 6.13（前週：4.50）と増加しています。中央東 10.00（前週：6.57）、須崎 8.00（前週：5.00）、中央西 6.67（前週：6.00）、高知市 6.45（前週：3.91）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
45	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Norovirus GII NT
45	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
45	百日咳	3ヶ月	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
45	インフルエンザ様疾患	4	女	幡多	Respiratory syncytial virus B

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	-	8	女	須崎	Epstein-Barr virus
44	肺炎	1	男	中央東	Respiratory syncytial virus B
44	RSウイルス感染症	1ヶ月	男	中央東	Respiratory syncytial virus B
44	インフルエンザ様疾患、RSウイルス感染症ただし抗原(-)	0ヶ月	男	幡多	Respiratory syncytial virus B

★全数把握感染症

第45週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	109	100歳代男	安芸
		1	110	80歳代男	中央東
4類	レジオネラ症	1	3	80歳代女	高知市
	日本紅斑熱	1	13	60歳代女	安芸

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザA 2例
		マイコプラズマ肺炎1例（8歳）
	おひさまこどもクリニック	ムンプス15例（香美市9例、香南市6例）
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎3例（4歳男、5歳女、6歳女）
		ノロウイルス感染性胃腸炎2例（1歳男、2歳男）
高知大学医学部附属病院小児科	ノロウイルス性胃腸炎1例（1歳男）	
野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎+髄膜炎1例（7歳男）	
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎18例（4歳4人、5歳2人、6歳3人、7歳、8歳3人、9歳3人、49歳、51歳）
		アデノウイルス感染症3例（1歳2人、4歳）
		カンピロバクター腸炎2例（7歳男、14歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症1例（4歳女）
		マイコプラズマ肺炎6例（4歳男2人、5歳男、6歳男2人、13歳女）
		溶連菌感染症8例
	細木病院小児科	ノロウイルス2例（1歳男女）
		サルモネラ1例（1歳女）
		カンピロバクター1例（1歳男）
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎4例（6歳男2人、9歳男、10歳女）
		アデノウイルス感染症1例（3歳男）
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症3例（4ヶ月男、9ヶ月男、10ヶ月女）
アデノウイルス2例（1歳男、2歳女）		
ノロウイルス1例（6ヶ月女）		
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎5例（1歳男女、2歳男、3歳男、5歳女）
		マイコプラズマ肺炎2例（7歳女、17歳男）
	石黒小児科	帯状疱疹1例（27歳女）
須 崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎1例（6歳男）
		滲出性扁桃炎（アデノ）2例（1歳、9歳）
		帯状疱疹1例（8歳女）
		マイコプラズマ肺炎2例（11歳2人）
		ノロウイルス検出率増加（44w）
幡 多	さたけ小児科	カンピロバクター腸炎1例（12歳女※44週検出）
		百日咳1例（3ヶ月女※44週検出）
		マイコプラズマ2例（3歳男、8歳女）
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎1例（15歳女）

## ★全国情報

### 第43号（10月24日～10月30日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核356例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症80例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎5例、重症熱性血小板減少症候群3例、チクングニア熱1例、  
つつが虫病7例、デング熱7例、日本紅斑熱14例、日本脳炎2例、レジオネラ症38例、  
レプトスピラ症3例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、  
急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、  
後天性免疫不全症候群18例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、  
侵襲性肺炎球菌感染症28例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒56例、  
播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、風しん2例、麻しん2例

報告遅れ：パラチフス1例、つつが虫病2例、デング熱2例、日本紅斑熱3例、ライム病1例、  
レジオネラ症5例、レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、  
急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、梅毒30例、  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

なお、本集計日に基づく第43週の麻しん症例数は、兵庫県においては病型変更後等のデータ確認作業が集計後に行われたことにより、本週報において一部のデータが反映されていない。

※第46週（11月14日から11月20日）の週報は、11月23日（水）が祝日となることから、公表は11月24日（木）となる予定です。



高知県感染症情報(59定点医療機関)

第45週 平成28年11月7日(月)～平成28年11月13日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(44週)	高知県(45週末累計)		全国(44週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/11/13				H28/1/4～H28/11/6			
インフルエンザ	インフルエンザ	1	5	4				10 ( 0.21)	( )	2,903 ( 0.59)	14,937 ( 311.19)	1,594,815 ( 322.97)			
小児科	咽頭結膜熱		3	7	1			11 ( 0.37)	33 ( 1.10)	766 ( 0.24)	599 ( 19.97)	57,220 ( 18.14)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	22		1	5	30 ( 1.00)	38 ( 1.27)	5,379 ( 1.70)	2,181 ( 72.70)	311,469 ( 98.75)			
	感染性胃腸炎	3	70	71	20	16	4	184 ( 6.13)	135 ( 4.50)	20,253 ( 6.41)	5,899 ( 196.63)	736,582 ( 233.54)			
	水痘		2	8	1		1	12 ( 0.40)	11 ( 0.37)	1,053 ( 0.33)	374 ( 12.47)	50,831 ( 16.12)			
	手足口病			1	1			2 ( 0.07)	9 ( 0.30)	2,887 ( 0.91)	337 ( 11.23)	55,372 ( 17.56)			
	伝染性紅斑			4				5 ( 0.17)	5 ( 0.17)	321 ( 0.10)	310 ( 10.33)	48,449 ( 15.36)			
	突発性発疹		1	3	1		1	6 ( 0.20)	6 ( 0.20)	1,296 ( 0.41)	460 ( 15.33)	66,218 ( 20.99)			
	百日咳			1				2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	54 ( 0.02)	104 ( 3.47)	2,661 ( 0.84)			
	ヘルパンギーナ			8	2		1	11 ( 0.37)	10 ( 0.33)	780 ( 0.25)	771 ( 25.70)	126,608 ( 40.14)			
	流行性耳下腺炎		21	5	1		3	30 ( 1.00)	15 ( 0.50)	3,317 ( 1.05)	850 ( 28.33)	134,922 ( 42.78)			
	RSウイルス感染症	2	8	13	3	2	3	31 ( 1.03)	28 ( 0.93)	4,213 ( 1.33)	955 ( 31.83)	81,413 ( 25.81)			
	眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	5 ( 0.01)	( )	355 ( 0.51)		
		流行性角結膜炎			1				1 ( 0.33)	( )	469 ( 0.68)	18 ( 6.00)	22,302 ( 32.27)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	7 ( 0.01)	10 ( 1.25)	429 ( 0.91)			
	無菌性髄膜炎							( )	( )	19 ( 0.04)	34 ( 4.25)	1,200 ( 2.53)			
	マイコプラズマ肺炎			4			6	10 ( 1.25)	4 ( 0.50)	533 ( 1.12)	276 ( 34.50)	15,505 ( 32.71)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	1 ( 0.13)	3 ( 0.01)	29 ( 3.63)	292 ( 0.62)			
	感染性胃腸炎							( )	( )	8 ( 0.02)	237 ( 29.63)	5,085 ( 10.73)			
計 (小児科定点当たり人数)	6 ( 2.75)	112 ( 15.74)	152 ( 13.24)	30 ( 9.99)	19 ( 9.50)	26 ( 4.00)	345 ( 11.02)			44,266	28,381 ( 739.18)	3,311,728			
前週 (小児科定点当たり人数)	14 ( 7.00)	74 ( 10.57)	144 ( 12.82)	31 ( 10.33)	18 ( 9.00)	15 ( 2.60)		296 ( 9.70)							

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第45週

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(44週)	高知県(45週末累計)		全国(44週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/11/13				H28/1/4～H28/11/6			
インフルエンザ	インフルエンザ	0.25	0.45	0.25				0.21		0.59	311.19	322.97			
小児科	咽頭結膜熱		0.43	0.64	0.33			0.37	1.10	0.24	19.97	18.14			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	2.00		0.50	1.00	1.00	1.27	1.70	72.70	98.75			
	感染性胃腸炎	1.50	10.00	6.45	6.67	8.00	0.80	6.13	4.50	6.41	196.63	233.54			
	水痘		0.29	0.73	0.33		0.20	0.40	0.37	0.33	12.47	16.12			
	手足口病			0.09	0.33			0.07	0.30	0.91	11.23	17.56			
	伝染性紅斑			0.36			0.20	0.17	0.17	0.10	10.33	15.36			
	突発性発疹		0.14	0.27	0.33		0.20	0.20	0.20	0.41	15.33	20.99			
	百日咳			0.09			0.20	0.07	0.03	0.02	3.47	0.84			
	ヘルパンギーナ			0.73	0.67		0.20	0.37	0.33	0.25	25.70	40.14			
	流行性耳下腺炎		3.00	0.45	0.33		0.60	1.00	0.50	1.05	28.33	42.78			
	RSウイルス感染症	1.00	1.14	1.18	1.00	1.00	0.60	1.03	0.93	1.33	31.83	25.81			
	眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.51		
		流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.68	6.00	32.27		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	1.25	0.91			
	無菌性髄膜炎									0.04	4.25	2.53			
	マイコプラズマ肺炎			0.80			6.00	1.25	0.50	1.12	34.50	32.71			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.01	3.63	0.62			
	感染性胃腸炎									0.02	29.63	10.73			
計 (小児科定点当たり人数)	2.75	15.74	13.24	9.99	9.50	4.00	11.02				739.18				
前週 (小児科定点当たり人数)	7.00	10.57	12.82	10.33	9.00	2.60		9.70							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869